

令和7年度

中心市街地まちづくり通信 Vol. 9

第8回中心市街地まちづくりワークショップ テーマ

2025年10月4日(土) 13:00~16:00

人権センター 参加者: 24名

『図書館×広場セッションの
企画を具体化しよう!』

第8回 中心市街地まちづくりワークショップ を開催しました!

本市では旧市役所跡地等に、図書館やホール、子育て機能等を持つ複合施設を整備する事業を進めています。令和5年度から市民と一緒に複合施設を作り出すことを目的に、「中心市街地まちづくりワークショップ」を実施しており、中心市街地の過ごし方や複合施設の使いこなし方を市民の皆様と議論してきました。

今年度は、社会実験「**HaReNiWa あそぶっく**」を**11/14(金)~16(日)**にフジ竹原店駐車場の図書館周辺エリアにて開催します。この社会実験は、複合施設に新たにできる図書館と広場の親和性を確認することや、市民が主体的に複合施設を活用する体制を構築すること等を目的としています。今回のワークショップでは、**社会実験にて「セッション(出合い)」を生み出す**ための企画の詳細について、班ごとに検討し発表しました。イベント名もその場で議論し、図書館とのセッションを予感させる素敵な名前に決めました。



子ども・子育て班 街なかプレーパーク

- ・本をテーマにしたボードゲーム
- ・プレイカーでビー玉ころがし
- ・本のポップを書いた人に焼きマシュマロを提供



趣味・文化班 みんなの文化祭

- ・ピアノ、ウクレレ、鍵盤ハーモニカ演奏会
- ・モルック体験
- ・ストリートピアノを弾いてみよう



全体デザイン班 図書館×灯り×飲食

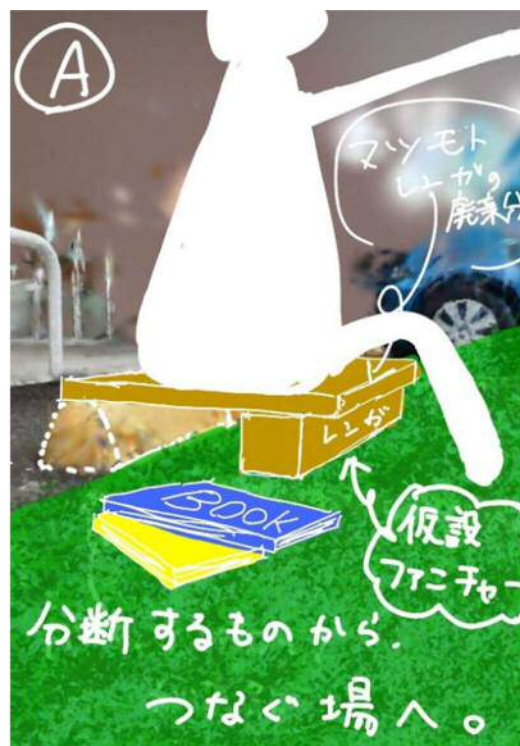
- ・受付やファニチャーのデザイン
- ・キッチンカー、日本酒の提供
- ・憧憬の路の竹あかりを用いた温かい空間づくり

※上記の案をもとに、実現可能性等を検討します

このワークショップ及び社会実験は、山口大学建築都市デザイン研究室のご協力のもと開催しています。宋俊煥教授によるワークショップの趣旨説明、学生による議論の進行やまとめはもちろん、学生が車止めを活用したベンチの絵を描く場面もあり、議論の発展に大きく貢献していただいています。仮設ベンチは学生が製作することになりましたので、当日どのようなものが出来上がるかご期待ください。



建築家の野崎俊佑さん（左上）も参加し、来訪者の過ごし方などについて質問を投げかけた



学生がワークショップ中に描いた「車止めファニチャー」（絵は企画段階のもの）

市民の皆様からも、「家からこたつを持っていけば、11月でも温かい」「演奏は知り合いの〇〇さんをお願いしよう」というように、自身のスキルや人脈を積極的に活かした提案が数多く出ました。『竹原中心市街地地区まちづくりビジョン』のテーマである「新たな活動が始まり、新たな価値を創造するまちへ」の実現に向け、セッションが生まれる空間を目指しますので、皆様ぜひお越しください！



イベント時間や会場レイアウトの調整のため、班同士で議論する光景も見られた



HaReNiWa
Instagram



これまでの「中心市街地
まちづくり通信」はこちら！
（市役所 HP）

【問合せ】 竹原市役所 企画部 企画政策課 公共施設再整備担当（伊藤、中井、川崎）
TEL：0846-22-1568 E-Mail：koukyou@city.takehara.lg.jp